



国際自然史標本保存学会 **Society for Preserving Natural History Collection (SPNHC)**

生物多様性情報標準化委員会 **Biodiversity Information Standards (TDWG)**

2024 年合同大会 in 沖縄コンベンションセンター

2024年9月2～6日沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションホールにて自然史標本の保全と利活用、情報流通を主題にした国際学会が開催されます。

国際自然史標本保存学会 Society for Preserving Natural History Collection (SPNHC) <https://spnhc.org/>
生物多様性情報標準化委員会 Biodiversity Information Standards (TDWG) <https://www.tdwg.org/>

はいずれもアジアではあまり馴染みがありませんが、欧米の主要博物館がその実践を公開し、議論する重要な場所です。今回、アジア地域でのメンバー拡大を望む両学会の意向で合同大会が沖縄で開催されます。

大会ホームページ <https://www.tdwg.org/conferences/2024/>

西日本自然史系博物館ネットワークは InnovateMuseum 事業の一環としてこの大会を支援しています。この大会は

- 生物多様性情報のの情報源としての自然史標本の保全に関連する様々な取り組み
- 自然史標本や情報の活用につながるデジタル化や教育活動、市民科学
- 生物多様性情報（観測情報、eDNA など含む）の流通や地域への還元に関わる標準化提案など、生態学、分類学、博物館学、教育活動、自然保護などに関わるさまざまな分野の講演が行われます。

現在オーガナイズドセッションの選定中でセッション決定後、3月ごろ講演の募集が始まります。ポスター発表や自らの機関のコレクション紹介など気軽な発表枠も予定されています。

是非関係の方には貴重な海外のノウハウ収集の機会、自館の活動・コレクションアピールの場として積極的なセッション・講演への応募と、日程の確保をお願いします。

この大会は両学会会員以外も参加発表ができます。またオンライン参加も可能となる予定です。

ただし、学会員は参加費が安くなりますのでこの機会に入会することもおすすめです。